

I 配合飼料供給安定協議会 事業報告書

1. 配合飼料供給安定協議会の設立について

災害時等の緊急時における畜産農家への配合飼料の安定供給を図るため、事業者自らの取組による事業のBCP（事業継続計画）の構築と併せて、平時より関係者間の連携体制を構築し、その強化に努めることを目的として配合飼料供給安定協議会を設立したものである。

2. 会議の開催

(1) 全国会議（上期：WEB 開催・下期：中野サンプラザ「スカイルーム」WEB 併用）

① 上期全国会議 令和4年4月21日

参加者：各ブロック代表、専門委員、本社関係等会員、農水省担当官及び事務局
＜議題＞

- (ア) 各ブロック代表による自己紹介
- (イ) 令和4年度事業計画について
- (ウ) 参加者によるご意見

《各議題の内容等》

(ア) 各ブロック代表の自己紹介

新たに選出された各ブロック代表者が今年度の取組み、活動の方向性等も含め、自己紹介を行った。そのほか、専門委員についても書面にて紹介した。

(イ) 令和4年度事業計画について

令和4年度の事業計画及び予算について、全国会議（上期・下期）及びブロック会議の日程等の確認、また、事業計画では、ブロック会議の内容として、第1回ブロック会議では、飼料輸出入協議会の専務理事による講演「飼料穀物の多面的分析」の実施と、第2回ブロック会議では、BCP 計画策定の新たなコンサルタントを講師として迎え、BCP 研修「自然災害等に備えた BCP 策定のポイント」を実施する旨を説明した。

(ウ) 参加者によるご意見

参加者全員が近況報告も含め、この協議会での活動等について個々に発言した。

② 下期全国会議 令和5年2月15日

参加者：各ブロック代表、専門委員、本社関係等会員、農水省担当官及び事務局
＜議題＞

- (ア) 令和4年度各ブロック会議概要報告について
- (イ) 令和4年度各ブロック代表者による活動報告について
- (ウ) 令和4年度専門委員及び各ブロック代表の紹介について
- (エ) 参加者によるご意見

《各議題の内容等》

(ア) 令和4年度各ブロック会議概要報告について（内容の詳細は、(5)に記載）

令和4年度のブロック会議については、年度内に2回の開催とし、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、会場出席及びWEB参加も可能な現地開催方式として実施した旨報告した。

(イ) 令和4年度各ブロック代表による活動報告について

各ブロック代表者が令和4年度の取組み、活動の方向性等も含め活動報告を行った。

(ウ) 令和5年度専門委員及び各ブロック代表の紹介

事務局より、令和5年度専門委員及び各ブロック代表を書面にて紹介した。

(エ) 参加者によるご意見

参加者全員が近況報告も含め、この協議会での活動等について個々に発言した。

(2) 総会等

① 定時総会 （書面による議決権の行使）令和4年6月24日

<議題>

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について

② 臨時総会 （書面による議決権の行使）令和5年3月27日

<議題>

第1号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

(3) 理事会

① 第1回理事会 （書面）令和4年6月6日

書面理事会にて決議があったものとみなされた事項の内容

令和3年度事業報告及び収支決算について

定時総会（案）について

② 第2回理事会 （WEB開催）令和5年3月22日

<議題>

第1号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第2号議案 臨時総会（案）について

(4) 専門委員会

専門委員会について、例年の専門委員による検討課題も一定程度整理されていることに加えて、現在、ブロック会議の内容は、講師を招いて実施する講演や研修がメインとなっていることから、開催は見送ることとした。

(5) ブロック会議（年度内2回開催）

令和4年度の各ブロックでの会議については、年度内に2回の開催とし、新型コロナウイルス感染症の感染状況もある程度、落ち着いていたことから、昨年度とは異なり、第1回、第2回ともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、会場出席及びWEB参加も可能な現地開催方式として実施した。

①ブロック会議の主な内容及び講師

(ア) 第1回ブロック会議

講演：「飼料穀物の多面的分析」

<主な内容>

- ・ 米国、世界における主要穀物の生産量、貿易量、面積及び単収等の動向
- ・ 日米インフレ率とシカゴコーン相場の推移
- ・ 先物取引について
- ・ 中国の穀物需要及び自給と輸入のバランス
- ・ ロシアとウクライナの穀物
- ・ 飼料穀物の備蓄のイメージ

<講師>

飼料輸出入協議会 専務理事 姫野健二氏

(イ) 第2回ブロック会議

BCP 研修：「自然災害等に備えた BCP 策定のポイント」

<主な内容>

- ・ 近年の災害と企業の動向
- ・ BCP の定義と現状
- ・ BCP の整理事項
- ・ BCP 策定のポイント

<講師>：MS&AD インターリスク総研株式会社

主任コンサルタント：甲斐 将広氏

アシスタントマネージャー：山下 慶介氏

②開催概要

(ア) 第1回ブロック会議

<関東ブロック>

開催会場：中野サンプラザ（東京都中野区）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年5月12日（木）14：00～17：00

参加会員数：28 会員

<東北ブロック>

開催会場：TKP ガーデンシティ仙台（宮城県仙台市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年5月26日（木）14：00～17：00

参加会員数：10 会員

<関西・中部ブロック>

開催会場：AP 名古屋（愛知県名古屋市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年6月1日（水）14：00～17：00

参加会員数：8 会員

<北海道ブロック>

開催会場：札幌駅前ビジネススペース（北海道札幌市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年6月15日（水）14：00～17：00

参加会員数：17 会員

<九州・沖縄ブロック>

開催会場：アークホテルロイヤル福岡天神（福岡県福岡市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年7月6日（水）14：00～17：00

参加会員数：21 会員

<中国・四国ブロック>

開催会場：ピュアリティまきび（岡山県岡山市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年7月22日（金）14：00～17：00

参加会員数：13 会員

(イ) 第2回ブロック会議

<関東ブロック>

開催会場：中野サンプラザ（東京都中野区）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年11月15日（火）14：00～17：00

参加会員数：31 会員

<関西・中部ブロック>

開催会場：AP 名古屋（愛知県名古屋市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年11月25日（金）14：00～17：00

参加会員数：13 会員

<北海道ブロック>

開催会場：札幌駅前ビジネススペース（北海道札幌市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年12月7日（水）14：00～17：00

参加会員数：17 会員

<東北ブロック>

開催会場：TKP ガーデンシティ仙台（宮城県仙台市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和4年12月15日（木）14：00～17：00

参加会員数：12 会員

<中国・四国ブロック>

開催会場：ピュアリティまきび（岡山県岡山市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和5年1月19日（木）14：00～17：00

参加会員数：14 会員

<九州・沖縄ブロック>

開催会場：TKP ガーデンシティ鹿児島中央（鹿児島県鹿児島市）

開催方法：WEB 併用会議

開催日時：令和5年1月26日（木）14：00～17：00

参加会員数：24 会員

3. 令和4年度概況報告

発足して7年目となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に一定程度落ち着きが見られたことから、年度内に2回開催するブロック会議において、感染防止対策を講じた上で、各ブロック（現地）での会場出席及びWEB参加が可能な現地開催方式として実施した。

また、総会（定時・臨時）については、書面による議決権行使の方式とし、理事会については、第1回は書面による同意方式であったが、第2回はWEB開催により実施し、専門委員会については、開催を見送ることとした。

令和4年度のブロック会議の概要として、第1回開催における「飼料穀物の多面的分析について」の講演については、飼料穀物の専門家により、現在の世界における飼料動向等を中心に、多岐にわたった分析等も行われ、受講した会員からは、内容が非常にわかりやすく参考になったとの声が多く聞かれた。

また、第2回開催における「自然災害等に備えたBCP策定のポイント」と題したBCP研修については、新たなコンサルタントから、会員各社に対し、事業継続計画の作成や内容の充実を図ることを目的に、具体的な訓練方法の提案及び実際のBCP作成に役立つツールが数多く紹介され、受講した会員からは、とても参考になったとの声が多く上がった。BCP策定のポイント等が明確に整理でき、各社の事業継続計画のレベルアップに繋がる研修となった。

4. 配合飼料生産状況調査

（1）配合飼料原料保管状況等調査

配合飼料製造業者の原料保管状況及び配合飼料製造状況の調査を実施し、四半期ごとにホームページ等により公表した。

（2）備蓄数量の検量

令和4年度飼料穀物備蓄支援事業の実施主体が保管する備蓄飼料穀物の在庫確認について、事務局では2社を対象に実施し、委託先では、飼料穀物備蓄支援事業の事業実施主体等が保管する備蓄飼料穀物の備蓄数量を確認し、併せて欠減の有無を確認した。

【事務局】

- ・ 1回目（7/5）株式会社I・フィード 門司工場
- ・ 2回目（12/14）石巻埠頭サイロ株式会社

【委託先】（一財）日本穀物検定協会

7月上旬、10月上旬、1月上旬、4月上旬他随時